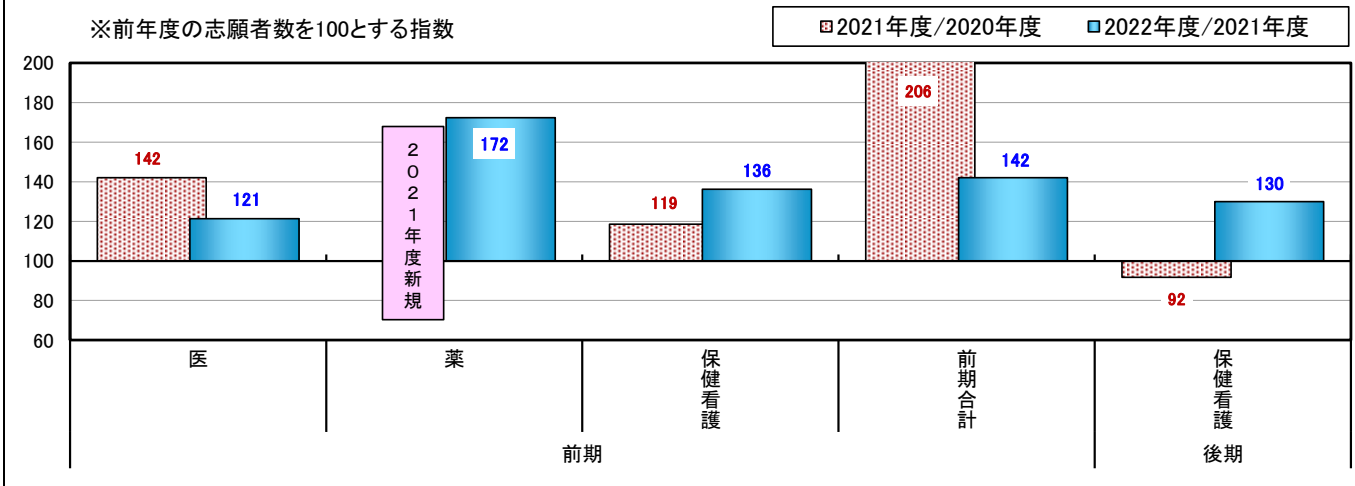


和歌山県立医科大：共テ平均点ダウンで、志望変更先として狙われて医、薬増加 前期：+223人 後期：+30人

**COMMENT** ※()内の数値は志願者数の前年度対比指数

大学全体では、3学部体制になって2年目だが、前期はメディカル系への人気の高まりもあり、223人(142)の大幅増加。前年度新設だった薬を除いても(126)の大幅増加。後期は保健看護のみの募集だが、30人(130)の大幅増加で3年ぶりに増加、志願者数が130人に達したのは、6年ぶり。

<前期日程>

- 医(121)は、共通テストの平均点ダウンの中で、共通テスト：個別試験＝600点：700点とほぼ均等配点であることと、近畿地区の医学科では比較的目標ラインが低いことから、上位大学からの志望変更先として狙われて、前年度の40%以上の増加に引き続き大幅増加。志願倍率も2.2倍→3.1倍→3.7倍にアップ。2段階選抜が実施され、第1段階選抜の合格率は88.1%だった。
- 保健看護(136)は、2年連続大幅増加で、志願倍率も2.2倍→2.6倍→3.5倍にアップ。6年ぶりに3倍台の志願倍率。
- 薬(172)は、新設2年目で周知が進んだことに加えて、系統への高い人気、志願倍率が前年度公立大の薬では最も低倍率だったこと、共通テストの平均点ダウンの中で、共通テスト：個別試験＝600点：700点とほぼ均等配点であることから、上位大学からの志望変更先として狙われたといった要因が重なり、70%以上の激増。志願倍率は2.6倍→4.6倍にアップ。